

パブリックコメント（意見公募）の実施結果について

募集期間 令和2年11月10日（火）～12月10日（木）

提出者数 3人（持参1件、FAX2件）

意見数 4件

No.	分野	意見要旨	意見に対する市の考え方
1	土地利用 構想	市の財政負担も相当であることから、道の駅を作ることは反対である。 地元産の野菜の販売所は、エルミこうのす内や北鴻巣駅周辺などにも存在しており、少子高齢化を踏まえると新たな箱物は不要であると考えます。	本市道の駅は、農業をはじめとした「産業振興の拠点」としてはもちろん、「道路利用者の休憩拠点」「市の魅力や情報の発信拠点」「防災の拠点」「子育ての応援拠点」といった様々な役割を担う施設です。特に、道の駅が持つ『地域外から活力を呼び込む力』と『地域の元気を創る力』を活用することで、地域全体の活性化や魅力の向上が図られるものと考えています。
2	土地利用 構想	道の駅に関して、プロによる企画・運営をお願いしたいかがか。	道の駅の地域振興施設には、農産物直売所や物販施設、レストランなどが入ることを想定しています。これら収益性の高い施設の経営には、専門的な知識や経験、運営ノウハウ等が不可欠です。 このため、道の駅の管理運営は指定管理者制度を採用し、収益施設の経営経験をもち、蓄積されたノウハウの活用による高い効率性が期待できる民間企業に委託することを予定しています。
3	土地利用 構想	人口減少社会において市財政の安定を将来にわたって得るには多方面にわたる産業の育成が望まれることから産業団地整備を進めるべきである。市内外からの労働参加が行われ、市民生活の安定が図られることを望む。 また、道の駅では、「居心地の良さを感じられる空間」「何度でも訪れたくなる空間」「鴻巣らしさを感じる空間」の実現に創意工夫を期待したい。	産業団地の整備については、事業主体である県と連携を図り、本市の産業振興と活力ある地域づくりに向けて、積極的に取り組んでいきます。 また、道の駅は、道路利用者の休憩、市の魅力や情報の発信、産業振興、防災、子育ての応援の5つの拠点としての役割を担う施設です。 これらの役割を果たし、平日でも多くの方々に訪れていただける道の駅となるため、民間企業の専門的な知識や経験、運営ノウハウを取り入れるなど、施設と運営の両面で創意工夫をこらしながら施設の設計等を進めていきます。
4	将来人口	これからの少子化時代に向けた対策をどのように講じていくかが重要である。 コロナ禍において、東京から地方移住する方が増えており、将来においてもより良い生活環境を求め、この傾向は続くのではないかと思う。このことから移住者を呼び込み、住民の定着が図られていくことの政策推進を行っていくべきである。	人口減少と少子高齢化への対策については、持続可能なまちづくりを目指す上で最大の課題であると認識しています。 新型コロナウイルスの影響によって東京からの地方移住の促進が期待される中、本市がその受け皿となるためには、自然災害に強い安全で安心な生活環境に加えて、デジタル化に対応した環境整備など、都市と自然が調和した利便性の高いまちづくりを推進していく必要があると考えています。 新型コロナウイルスによって生活環境や社会課題が急速に変化する中、柔軟かつ確実に人口減少対策に取り組んでいけるよう、第6次総合振興計画後期基本計画の策定に向けて効果的な施策や事業を検討していきます。